

学会記事

第19回徳島医学会賞受賞者紹介

徳島医学会賞は、医学研究の発展と奨励を目的として、第217回徳島医学会平成10年度夏期学術集会（平成10年8月31日、阿波観光ホテル）から設けられることとなりました。年2回（夏期及び冬期）の学術集会での応募演題の中から最も優れた研究に対して各期ごとに大学関係者から1名、医師会関係者から1名～2名に贈られます。

第19回徳島医学会賞は次の2名の方々の受賞が決定いたしました。受賞者の方々には第236回徳島医学会学術集会（冬期）授与式にて賞状並びに副賞（賞金10万円及び記念品）が授与されます。

尚、受賞論文は本号(219頁～240頁)に掲載しています。

（大学関係者）



氏名：南 裕子
 生年月日：昭和55年8月12日
 出身大学：東京農業大学応用生物科学部栄養科学科
 所属：徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻食品機能学分野

研究内容：食品機能成分による酸化ストレス制御
 受賞にあたり：

この度は、第19回徳島医学会賞に選考していただき、選考委員の先生方をはじめ関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

私は、紫外線曝露で起こる皮膚光老化への脂質過酸化反応の関与と抗酸化物質摂取によるその制御について研究を行ってまいりました。これまで、光老化には紫外線曝露によって皮膚中に生じた活性酸素種が関与することが示唆されてきましたが、その詳細な機構は不明でした。本研究においては、この活性酸素種生成からシワ形成に至るまでの経路を明らかにするべく、酸化ストレスを受けやすい生体膜構成脂質に着目し研究を進めてまいりました。この研究の中から、膜構成脂質のひとつであるコレステロールの過酸化物がシワ形成に関与する酵素の活性を高めることが明らかとなりました。大変興味深いこ

とに、この作用はコレステロールと同様に皮膚に比較的多く含まれるリノール酸の過酸化物ではみとめられませんでした。したがって、コレステロール過酸化物が皮膚光老化発症の一因を担っていることが考えられます。一方、光増感反応によって特徴的に生じる活性酸素種である一重項酸素に対し強い捕捉能を持つβ-カロテンを、紫外線照射前および照射期間中にマウスに摂取させることにより皮膚の肥厚やたるみ、シワ形成が抑制されました。すなわち、皮膚光老化の予防には日常的な抗酸化物質の摂取が有効であることが示唆されました。本研究は、日常の食事による疾患予防の重要性を提示するとともに、現代の高齢化社会におけるQOLの向上に貢献できるのではないかと考えております。

最後になりましたが、今回の研究を行うにあたり、多くのご指導、ご助言をいただきました先生方に深く感謝いたします。

（医師会関係者）



氏名：森 博愛
 生年月日：大正14年3月6日
 出身校：九州大学医学部
 所属：田岡病院内科
 研究内容：臨床心電学

受賞にあたり：

この度は第19回徳島医学会賞に選考して頂き、選考委員の諸先生方をはじめ関係各位の方々に心から厚く御礼を申し上げます。

私は徳島大学医学部を平成2年に定年退職して以来、田岡病院内科で診療に従事すると共に、徳島市役所産業医として職員3,000人の健康管理にも携わってきました。

徳島市では、職員の福祉サービスの一環として市内の健診施設において人間ドック健診を実施して頂いております。そのため、これらの施設で記録した心電図と施設担当医の方々の心電図診断を比較できる立場にいます。その結果、これらの健診施設の心電図診断には、基本的な点での不適切な診断が非常に多いことに気づきました。その理由としては、第1に解析機能内蔵心電計の普及、第2にわが国特有の医療制度、第3に医学部における心電図講義時間の不足などがあげられます。

心電図診断能力の向上には、多くの心電図を経験豊富

な専門医の指導のもとに自己研修することですが、電子メールによるメーリングリストはこの目的に非常に適しています。

現在、私共が実施している心電図自己研修用メーリングリストは、会員数270名、メール発信数3,653通、症例

数360例に達しています。できるだけ多くの医師、コメディカルの方々が、このメーリングリストに加入され、正しい臨床心電学の知識を身につけられ、地域社会の医療に還元されることを希望しています。